

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	49	学校名	仙台市立八木山小学校	校長名	鈴木一生
------	----	-----	------------	-----	------

1 取組のタイトル、テーマ エコ・スマイル 八木山小



2 取組の紹介

○フードロス削減「お悩みボックス」

給食委員会が企画し、給食の悩みを全校児童が給食委員や給食センターの方に相談できる「お悩みボックス」を設置しました。「魚に骨があるとのどにつまらないか心配になる」や「苦手なものをどうしたら食べられるようになるか」などの相談が児童から寄せられました。それらに対し、給食センターから給食が栄養のバランスを考えられ、カロリーを計算された食事であることの説明や、給食委員から実体験を基にしたアドバイスなどが回答されました。自分や友達の相談に対する回答を聞いて、給食を残さず食べようとする意識を高めました。



○ごみの分別



各学級では可燃ごみとプラスチックごみを分別しています。今年度は、環境委員会がゴミ箱の表示がされているか全学級を確認し、各学級できちんと分別できるように働き掛けました。給食に出るヨーグルトやジャムなどのゴミの分別を正しく行うよう表示の確認をする児童の姿が見られました。また、教室で分別されたゴミが「ごみステーション」（全校のゴミを集める場所）で混ざらないように、環境委員がポスターを書いてゴミの分別の徹底を呼びかけました。

職員室でも同様に分別をしています。古紙は裏面がまだ使えるものは裏紙として再利用するように職員も努めています。



ごみステーション

3 取組の成果（児童生徒の変容）

○給食委員会を中心に様々なフードロス削減に対する取組をしたことで、児童は給食をしっかりと食べて残食を減らそうという思いを持つようになりました。また、給食センターの方からの話を聞いて、毎日の給食に感謝の気持ちを持つこともできました。

○ごみの分別など環境をよりよくしようと主体的に活動する児童の姿が見られました。委員会活動を中心に環境にやさしい学校づくりに取り組む高学年の姿は、下学年・中学年の児童に良い影響を与えています。